

平成 27 年度の事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 健康麻将全国会

1 事業の成果

今期は 首都圏において既存の開催地以外に新規開催要望も多く初心者向け麻将講座を多数開催いたしました。また首都圏以外での指導員認定(地域指導員養成講座)も要望が増え充実した人材育成ができました。なお公共施設での活動日の確保が難しく新たな支部を開設し受益者の満足度向上を図り講座が充実してきました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	収支計算書の事業費の金額 (単位:千円)
(1) 一般市民への麻将教室開催事業	公民館をはじめ公共施設において初心者向けの麻将教室を行う。	(A) H27.4~H28.3 (B) 首都圏の公共施設 (C) 延べ 6000 人	(D) 一般市民 (E) 延べ 8 万人	64,530
(2) 麻将サークル支援事業	麻将を楽しむための地域サークル活動の助言や用具の貸し出し、講師の派遣等	(A) H27.4~H28.3 (B) 首都圏の公共施設 (C) 延べ 3000 人	(D) 一般市民 (E) 延べ 2 万人	14,989
(3) 麻将指導員の認定活動	麻将に関する指導員の試験を行い、指導員としての能力を有する者に認定を与える。	(A) H27.4~H28.3 (B) 本部他公共施設 (C) 延べ 10 人	(D) 一般市民 (E) 延 100 人	288
		(A) (B) (C)	(D) (E)	

注: 通常のマージャンは麻雀と表記するが、これは賭け事としての意味と誤解されるため、ゲームとしてのマージャンを意味する 麻将 と表記している。